

〈ボーダーレス化する社会への対応〉

急速な技術革新を背景とした情報通信分野の発展は目覚ましく、社会経済の仕組みも大きく変化し、様々な局面においてボーダーレス化*が進んでいます。さらに、地球温暖化が要因とされる気候変動など地球規模での環境問題が顕在化しています。

① 経済構造の変化とグローバル化*の進展

世界経済の結びつきが深まるグローバル化*が進展する中、アジアの新興国の成長等により様々な分野において国際競争が激化しています。こうした中、投資の国際的な相互交流やTPP（環太平洋パートナーシップ）、RCEP*（東アジア地域包括的経済連携）等の検討に代表されるように経済連携の強化等によるヒト・モノ・カネ・情報の交流の拡大に対応しながら、地域経済の活性化、事業者間の連携による新たな市場への展開など、民間事業者が積極的に事業展開できる環境を整えることが求められています。

② 自然災害や環境・エネルギーなど地球規模でのリスク変化

近年、地球温暖化の進行や生物多様性の危機など地球規模での環境問題が非常に深刻となっています。また、極端化する気象現象による災害の頻発化・激甚化、PM2.5による国境を越えた大気汚染など、かつてなかった環境問題が生じてきており、地球環境保全対策は喫緊の課題となっています。

さらに、福島第一原子力発電所事故以降、環境とエネルギー安定供給の確保と経済が調和した低炭素社会の実現を求める声が大きくなってきており、各国と連携を図りながら、環境負荷の少ないエネルギー政策を展開していくことが重要となっています。

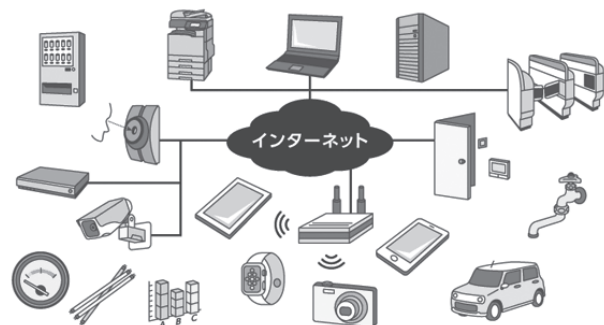
また、新型インフルエンザ・デング熱・エボラ出血熱など感染症の不安も広がっており、日常的な生活の範囲にまで、グローバル化*による様々な脅威が増えてきています。

③ 科学技術の革新的進歩

「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワークにつながる「ユビキタスネットワーク社会」は21世紀初頭から構想されていましたが、近年、急速に現実化が進んでいます。スマートフォンなどのデバイス（端末）技術、「モノ」のインターネット化（IoT技術）の進展、ワイヤレスなどのネットワーク技術、クラウドなどのプラットフォームやビッグデータなどを活用したサービスの進展が進み、経済活動や日常生活などのあらゆる分野で変化をもたらしています。

このように、情報通信ネットワークの高度化・多様化が加速する中で、社会の情報化もこれまでにない速さで進展していることから、成熟・安定型社会への転換期に求められる様々な課題を解決するツールとして、積極的に利用していくことが期待されています。

- *ボーダーレス化 境界がない社会になること。国境を始め、業種、業態、時間、組織、人格、仕事や性別などの線引きを消してしまうこと。
- *グローバル化 世界的規模に広がること。政治・経済・文化などが国境を越えて地球規模で拡大することをいう。
- *RCEP Regional Comprehensive Economic Partnership の略。東南アジア諸国連合(ASEAN)10か国と日本・中国・韓国・オーストラリア・ニュージーランド・インドの計16か国が交渉に参加する、広域的な経済連携構想。



■ 「モノ」のインターネット化（IoT技術）のイメージ